

2017年6月16日

## 留学についての質問とそれへの応答

留学のお話をいただいた先輩方、ありがとうございました。

フランスへ行かれた先輩は、フランスでどのようなことを学ばれていたのでしょうか。人文科学系と仰っていましたが、具体的に知りたかったです。

**人文学科で、文学や思想史や歴史の授業を受けていたそうです。**

トビタテに応募したいが、それに応募するための理由がない。どうすればいいか。

**トビタテは、学生個人のオーダーメイド留学です。自分の留学目的をプレゼンして採用してもらわないといけません。今、そうした計画が立たないのはもっともです。トビタテのオフィシャルサイトで、これまでのトビタテ採用例が多数閲覧できるので、まずは、そうしたところから始めて情報を集めましょう。**

トビタテジャパンを使った留学の場合、留学中の単位・授業料などの学費はどうなりますか？

**徳島大学への学費は同時に払うことでトビタテの留学期間も4年間の在学期間に計算されます。留学先への学費は、トビタテ奨学金から各自払い込みます。留学で取得した単位は学務係に、成績証明書、シラバス等の資料と共に単位認定の申請をすることで認定されます。**

私は中国へ留学したいと考えています。今回、実際に留学された先輩方のお話を聞いて、留学する際にはいくつかの奨学金の制度があることを知りました。「トビタテ!」を利用すれば、本学と提携校を結んでいない大学へも留学できるとのことでしたが、その留学している間の単位などの成績のほうはいったいどのような扱いになるのでしょうか。それに加えて、奨学金の応募条件、例えば「TOIEC400点以上」など、それらの条件はどこの国へ行

くにしてもやはり必要なのですか。お答えよろしくお願いいいたします。

TOEIC400点というのは、徳島大学アスパイア奨学金申請の条件です。中国語圏への留学でも必要とされます。また単位については、後述しますが、現地大学発行の成績証明書と授業内容についての資料を学務係に提出して徳島大学としての単位を認定してもらいます。留学で取得の単位は合格点の場合、単に単位数のみ記載され、点数や評価は徳島大学の成績書には記載されません。

留学方法ないし奨学金については、一般的には交換留学というというのが普通です。これは留学先が提携校に限られます。

それ以外に、現時点ではより有利な条件で留学することが出来るのが中国政府留学生制度です。大宅壮一文学賞を受賞した城戸久枝さん他、徳大からこの制度で留学した人も多くいます。但し、これは個人申請であることと、大使館での選抜試験があることを考慮して下さい。これは直接の試験なので、事前の資格は中国語に関する、中国政府が実施するHSKのみとなります。英語は全く関係しませんので中国語を勉強して下さい。

留学をする上で、もっておいた方がよいTOEICの点数などは決まっているのでしょうか？

要は、英語での授業で、聞き取ったり、レポートを書いたりできる能力があるかどうかということです。目安としては、TOEIC700点くらいあると、授業を聞いたり教科書を読んだりするのにある程度対応できます。その他、授業中発言をしないと指導教員からの成績評価は低くなる場合があります。

留学に関して語学力やコミュニケーション能力以外に身につけておくべき能力はありますか。私は留学しようと考えています。それに伴い、その土地の社会情勢に関して調べるべきであると考えています。その理由としては、現地の社会情勢について下調べをしておくことで、留学してから現地での社会や文化に関する知識の吸収速度が変わってくると考えたからです。

そうですね。すべての留学生には留学予定の国について関心を持って学んでおくことを強く勧めます。

長期留学しても、四年で卒業できるのか。留学先でとった単位で、見てくれるとして、4年間の成績に響かないのか。

留学先で取得した単位は、科目名（取得大学名）単位数で成績表に記載されます。成績そのもの（A～F）は、徳島大学の成績表には反映されません。GPAにも算定されません。

短期留学と長期留学ならば、どちらを勧めるか。また、長期留学ならばどのような資金援助があるか。

現地での生活や授業に対応できる（あるいはチャレンジしたい）人は長期留学を勧めます。それについて不安が大きい人は短期で行ってみましょう。

大学在学中に留学したいと考えているのですが、留学したい時期のどのくらい前から応募が始まっているのですか？

9月から留学を開始する場合、7カ月前の2月に応募締め切り、選考を行います。応募説明会は前年の10月です。

総合科学部では大体何割ぐらいの人が留学を経験するのか。

現在のところ、すべての学年を合わせて、1学期以上の長期留学で毎年10名程度、短期で40名程度です。今後留学する学生を長期、短期とも2倍に増やすことが目標です。

私は外国人とあまり会話したことがなく会話で使える応答や、コミュニケーションのための英語が話せないですが、留学して海外の人とそれなりに話せて相手が話していることを聞きとることができるようになりますか？

各個人のコミュニケーションに対する積極性が大きくかわります。相手が言っていることがよくわからなくても、とにかく質問したり、自分の思っていることを伝えようとする人は大きく英語コミュニケーションの力を伸ばしますが、消極的な人は目立った成果を上げられないこともあります。

教員免許の取得を考えているが、長期留学することは可能なのだろうか。

2年の秋から留学を開始して3年生の春に帰って来れば、4年生で教育実習に参加するために必要な科目の受講が可能になり、4年間で教員免許を取得できます。

夏の2週間の開南大学へは2年生も行っている人はいますか？

もちろん2年生でも問題なく参加できます。

以前から留学は興味を持っていたが、今回の実際に留学に行かれた先輩方の話を聞くと

より一層、留学への気持ちが高まった。先輩方の話が生の話だったので良い部分だけでなく、苦勞したこと、もっとこうすべきだったという改善点を現在の段階で聞くことが出来たのはとても良い機会だった。興味を持ったら、つぎは行動してみないと何も始まらない。資料を取りに行くなど少しのことでもまずは行動に起こしてみたいとおもった。

もしある程度の金の備蓄が必要になるなら、今のうちからコツコツ貯める計画を立てていかなければならないから、留学に必要なお金は、過去の留学生の方々はどうされていたのかを知りたい。

必要となる費用、また、奨学金でまかなえる額については、「総合科学国際交流の全て」をごらんください。その資金の準備についてなどの問題は、長期留学報告会、あるいはカルチャーラウンジで、留学経験のある学生に直接質問してみましょう。いろいろアドバイスしてくれるはずです。

1年前期で **academic english** を受講していなくても留学できますか?また、そのような人はこれまで留学に行った人の何割くらいですか?

英語での授業に苦勞なくついて行ける学生はほとんどいないので、留学予定の学生にはあらゆる手段で英語力アップに取り組むよう勧めています。アカデミック英語（課外）もその一つです。留学した時に英語での授業で何が大変か、留学経験のある学生や教員ら、いろいろな人に相談してみて、自分の英語面の課題を見つけましょう。

質問はありません。ただ春季にモナシュ大学への短期留学を希望します。